

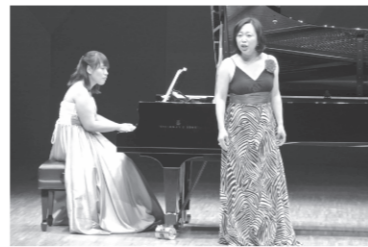
『栗の実カスタネットをつくり《カルメン》をたたこう!』

10月30日(日)、日立シビックセンターにおいて、オペラ道具スタッフチーム企画によるオペラ創り体験ワークショップ&ミニコンサートが開催されました。小学校3年生～5年生17人が参加しました。

午前は、多用途ホールで、林和男さん(アトリエ niki 工房)の指導で、カスタネット作りをしました。材料は栗とアフリカンパドウクの木で、色も形も栗の実そっくりに荒仕上げしたカスタネットの表面を紙やすりで滑らかにし、布で磨き、蜜蝋を擦り込み、ゴムひもを付け完成させました。自分だけの一品をいとおしそうに持ち、音、形、手触りを味わっている姿が印象的でした。

午後は、一回目は多用途ホールで、二回目は音楽ホールで行われた「オペラ名曲コンサート」に出演しました。司会は、子どもオペラ学校卒業生飯泉奈央さん。演奏の進行と指揮は、第20回ニューイヤーオペラコンサートの音楽監督・指揮の大浦智弘さん。ソロは、メゾ・ソプラノ大津香津子さん。ピアノはひたちジュニア弦楽合奏団OGの磯野舞さん。子どもたちは《カルメン》から2曲を一緒に演奏しました。事前に大浦さんからリズム指導があり、大勢の観客を前に臆することなく、リズムに乗り、楽しそうに栗の実カスタネットをたたいていました。「楽しかった」「よくできた」などの感想が聞かれました。

多くの収穫があった一日だったようでした。



『ニューイヤーオペラコンサート 写真展』

新年の幕開けを祝い開催してきたニューイヤーオペラコンサート。今回で第20回を向かえ節目の年となります。コンサートの開催を記念して、過去に行なった公演の記録写真を展示します。20年に渡るニューイヤーオペラコンサートの軌跡を写真でお楽しみください。

【日 時】12月9日(金)10:00から12月18日(日)18:00まで

【会 場】日立シビックセンター アトリウム

【料 金】無料

『うたとお話で綴るオペラコンサート～指揮者編～』

全国で活躍されている指揮者の松下京介氏によるオペラコンサート。オペラの魅力や楽しさを歌とお話を交えてご紹介いたします。

【日 時】平成29年3月25日(土)開演14:00

【会 場】日立シビックセンター 第2音楽室

【料 金】無料(申込制:先着70名)

【出 演】松下京介(お話)、黒田詩織(ソプラノ)、望月一平(バリトン)、橘知里(ピアノ)

【申込み】平成29年1月28日(土)10時から直接または電話にて申込み受付開始

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください

〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター
「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」事務局 まで
TEL: 0294-24-7755 FAX: 0294-24-7979

公式 Facebook ページにて、公演情報・オペラ情報を発信中!

ひたち市民オペラによるまちづくりの会 検索 <https://fb.com/hitachiopera>

編集後記

新年恒例の New Year Opera Concert は、第20回を迎えることとなった。日立市の文化として根付かせるためには、まだまだ力を入れてゆかねばならない。出演者としてステージに上がる市民、観客としてホールを埋める市民、スタッフとして働く市民があつてこそその New Year Opera Concert である。力を合わせ、日立市の音楽文化として継続、発信してゆこう。「継続は力」である。(H.M)



“魔笛”に出会った子どもたち～第8回子どもオペラ学校成果発表会を終えて～



7月18日 成果発表会「序曲」のシーン

7月18日(月・祝)、シビックセンター音楽ホールで第8回子どもオペラ学校成果発表会が行われました。

開演のベルが鳴る前に、白い衣裳を身に付けた子どもたちのストレッチが始まり、静から動の動きへ、最後はステージ中を走りまわりました。続いて工夫いっぱいの発声練習が終わると水色の布をつけてスタンバイと思いきや、既にワークショップは始まっていたのです。

オペラ《魔笛》から「音楽はよい心を助けてくれる」というメッセージにあふれた7曲を歌い、ストーリーは愛と成長の物語となっています。子どもたちは、場面ごとに様々な布を持ち、人間でない火や獣にも変身し、全身で一つひとつの事を真剣にこなして行きます。自らが工夫した演技も取り入れたダンスは楽しそうでした。ちよっぴりステップが遅れていてもご愛嬌。かわいらしさと映ります。のびのびとした歌声、美しいハーモニーは心を揺さぶりました。

今まで学んだこと、気づいたこと、考えたことなどそれぞれのパーツが組み合わせられ一つの作品になっていきました。子どもたちの力はすごい!成長も大きい!と感じました。

アンコールは大好きな「パ、パ、パ」を、指導者、スタッフ、ボランティアもみんながステージに上がり一緒に歌い、踊りました。会場からの手拍子に、子どもたちは飛び切り上等の笑顔になり、精いっぱい声で歌い、踊り、はじけました。あるお客様は「小さい子もいるのに、わずか5か月でよくあそこまでできましたね」と感心していました。

成果発表会を終えた7月22日(金)、23日(土)、かみすわ山荘にてOGも参加して1泊2日の振り返り学習を行いました。

1日目は、成果発表会の映像を見て、良かったことや反省点などを振り返り、次回へつなげる授業が行われました。舞踊では、振り付けを覚えるの自分たちで工夫し振付けることについて話し合い、ストレッチの方法をグループで考え、発表しました。音楽では「この道」を題材に、吹き抜けホールの一階と二階に分かれ掛け合いで歌ったり、ソロで歌ったり、3人で歌ったりして響きあう心地よさを味わいました。

合宿2日目は《魔笛》の鑑賞と次回公演に向けての「タイトル」と「キャッチコピー」を考えました。宿泊学習はみんなが仲良く過ごし、とても楽しい2日間でした。

第8回子どもオペラ学校は無事終了し、子どもたちの心に第9回に向けてのやる気や期待が湧いてきたようでした。ひたちオリジナル版《魔笛》は生き物のように変化し、どんどん成長して行くことでしょう。



振り返り学習 みんなで発声



第9回のキャッチコピーを考え中